

和気町議会だより

和気議会NAVI

② 特集 中学生模擬議会

⑥ 9月定例会より ⑦ 質疑と答弁 ⑨ 委員長報告 ⑩ 一般質問



和気町議会
第74号
令和6年
9月定例会



特集

中学生模擬議会



和気町の未来を 真剣質問

中学生の主権者教育を進めるため「中学生模擬議会」が開催されました。

8月30日(金)に本庁舎議場で行われた「中学生模擬議会一般質問」は、1人20分以内、同一項目につき質問回数2回以内を原則に、一問一答方式で行われました。



それでは、通告順位に
したがって、
1番 焰硝岩 夏鈴議員に
質問を許可します。

みつおか ゆうた
光岡 優汰 議長(和気中3年)

太田町長からのメッセージ

この模擬議会は、中学生が主権者としてどのように政治に関わっていくかを考える機会にするため、昨年度から開催しています。

選挙権が18歳となり3年後には皆さんにも選挙権が与えられ、全ての選挙で投票できます。選挙は有権者が政治に関わる大きな機会でもあり、今回の中学生模擬議会を主権者教育の一環として捉えて、まだ選挙権のない中学生の思いや考えを今後の町政運営に反映していきたいと思っています。



ふじわら あお
藤原 愛生 議員
(和氣中3年)

和氣中にある桜 12本の今後は

質問：和氣中学校には桜の木が12本ある。植樹から40年が経過し、今後どのように守っていくか。幅広い意見を聞きたい。

答弁：徳永教育長

先生方や生徒の皆さんが適切に管理していることで、その風景を多くの方が楽しみにしている。剪定や伐採は、専門の方に相談して、町の予算で実施をしていきたい。桜の木は町木でもあり、ふるさと和氣の景観を守るためにも、その管理は今後も適切に行う必要があると考えている。



おおにし るりか
大西 瑠璃華 議員
(和氣中3年)

和氣美しい森の リニューアルについて の提案

質問：和氣美しい森に設置されているトリムコースは、老朽化が進み安全面でも懸念が大きくなっている。今後リニューアルの予定があるなら、単なる遊具の入れ替えではなく、多様な健康器具や小学生以上でも遊べるアスレチックを設置しては。

答弁：今田副町長

和氣美しい森のトリムコースは設置から20年以上経過し、老朽化が進み、昨年一部修繕した。他の部分の老朽化も進み、現在は使用を中止している。当初は修繕による対応を予定していたが、物価高騰により修繕費が著しく高騰しているため取り壊して新しい遊具設置を検討している。



えんしょういわ かりん
焰硝岩 夏鈴 議員
(佐伯中3年)

安心安全な まちづくりについて

質問：①佐伯地域の登下校で暗くて危ない場所の対策は。

②佐伯小学校付近に大きな用水路と道路の間のガードレールには不十分な箇所がある。その安全策は。

③片鉄口マン街道の交通ルールやマナーを守るなど交通安全の対策は。

答弁：太田町長

①②通学路の安全対策については、街路灯、カーブミラー、用水路などへの転落を防止する側溝蓋やガードパイプの整備など、優先順位をつけて順次行っている。また、白い線を引いて境界を作って水路を明確にわかるようにする方法や、反射板の設置等により注意喚起を行うなどの対策を行っている。

③備前警察署と連絡を密にしながら、取り締まりを強化してもらうよう要請する。



おかざき りょうた
岡崎 瞭太 議員
(佐伯中3年)

矢田工業団地の今後と 佐伯地区の遊具について

質問：矢田工業団地は、備前化成と立地協定を締結し、2年経過しているがいまだに建設する様子はない。今後の展望は。

答弁：今田副町長

当初2023年度中に、第一期工事が開始される予定だったが、調達費用の高騰を受け着工が遅れている。

第一期工事が2026年に完成予定である。

質問：佐伯小学校の遊具が小さくなった理由とサエスタの遊具が一部使えないが今後はどうなるのか。

答弁：徳永教育長

佐伯小学校は遊具の安全性を考慮し、3年計画で整備している。サエスタは適時、修繕対応を行っている。



たかた かのん
高田 果音 議員
(和氣中3年)

安全な通学路の 整備を求める



質問：和氣町内の通学路における安全対策の強化は。溝や用水路に蓋や柵を設置し、転落事故を防げないか。

答弁：太田町長

和氣町通学路安全推進会議を年に一度開催しており、通学経路の確認や危険箇所の情報共有を行い、安全な通学路を目指して協議を進めている。

水路の多くは農業用に使われているので、対応ができない箇所も多い。今後は地元の区長や農業水利関係者の方々と協議をしながら慎重に対応していく。

おおもり かずき
大森 一輝 議員
(和氣中3年)

祭りやイベント時の 渋滞対策は



質問：和氣鵜飼谷交通公園や藤まつりなどの渋滞対策をどのように考えるか。

答弁：太田町長

和氣鵜飼谷交通公園はゴールデンウィークに渋滞が発生して、ご迷惑をおかけした。現在、駐車場の増設に取り組んでいる。藤まつりは、周辺の臨時駐車場の確保とともに、夜間の藤公園のPRをして、来園者の分散化を図りたい。

和文字焼きまつりは、新たな駐車場が確保でき、渋滞がかなり緩和されている。

多くの方々に和氣町を訪れていただくことは、非常に嬉しいことだ。解消に向け頑張っていく。



あんどう かなほ
安東 加奈穂 議員
(佐伯中3年)

美しい自然を活用した まちづくりは



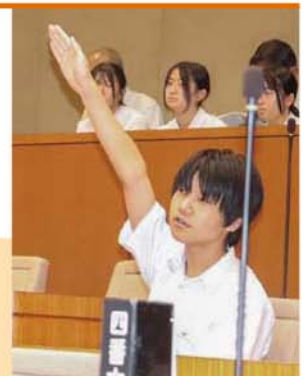
質問：和氣町には自然豊かで桜が美しい場所が多くある。特に吉井川沿いの桜並木はとても美しく、多くの方が訪れている。桜の木の下にベンチを設置してはどうか。憩いの場所、サイクリング客の休憩場所になるのでは。

答弁：太田町長

桜は町の木として指定されている。桜のまちとしてPRしていくのも交流人口増加につながるのではないかと。ベンチの設置についても人気スポットへ整備していきたい。地域資源を通じて、和氣町の四季を満喫してもらえるよう取り組む。

こうさか ゆうすけ
高坂 優介 議員
(佐伯中3年)

高齢者支援と 和氣駅の整備について



質問：佐伯地域の移動販売を導入しては。

答弁：今田副町長

高齢者等への買い物支援策については、身体に障がいがある方、運転免許証をお持ちでない高齢者のみの世帯、小さいお子さんを育てている方のために、おかやまコープのカatalogで日用品を購入し、自宅まで個別配送してもらう場合の配送手数料を町が補助し、日用品の買い物を気軽にできるよう支援をしている。

質問：和氣駅の南側に改札とホームを設置しては。

答弁：太田町長

シルバー世代やハンディキャップをお持ちの方などが安全に便利よく公共交通機関を利用できる環境を整備するため、現在、和氣駅構内へのエレベーター設置事業を検討している。

南口を作るには、多くの施設が必要となり、町が負担する金額も莫大になってしまう。その後の維持管理においても和氣町の負担が発生するなど、様々な課題が生じる。



参加中学生【写真左から】 藤原 愛生さん(和気中3年)、大森 一輝さん(和気中3年)、高田 果音さん(和気中3年)、大西 瑠璃華さん(和気中3年)、光岡 優汰さん(和気中3年)、焰硝岩 夏鈴さん(佐伯中3年)、安東 加奈穂さん(佐伯中3年)、岡崎 瞭太さん(佐伯中3年)、高坂 優介さん(佐伯中3年)

模擬議会を終えて ...



中学生議員

- 和気町を支えている議会のことを知ることができて良かった。
- 自分の意見を大切にしながら、地域社会に貢献できるように頑張っていきたい。
- 自分たちが社会に関わっていることが理解でき、社会について少し知識を深めることができた。
- 和気町の取り組みや議会について少し興味が出てきた。
- 和気町民であることに、今までにない強い誇りを感じた。

- 貴重な経験になったと思う。今後も経験を活かしてほしい。
- 子どもたちの声が直接届くよい機会だった。
- 住みやすく、楽しく明るい町にするために周りを観察して関心を持って主張していた。
- 少しずつ実現できると子どもたちも希望が持てるので、ぜひ考えてもらいたい。
- 議会への興味が湧き、身近に感じれば、和気町の発展にもつながるのではないかな。



保護者



傍聴生徒

- みんなゆっくり話していて聞き取りやすかった。
- 議会の進み方や流れなどを知ることができた。
- 和気町についての決定がどんなふうに行われているかを実際に見ることができた。
- 地域のことについて深く理解し、さらに良い町になるよう、中学生としてできることをしていきたい。
- 3年後、少しでも政治に参加できればと思った。

徳永教育長 講評

議長を務めてくれた光岡君をはじめ、一般質問をした8名の中学生議員の皆さん、ご苦労様でした。一人一人が中学生議員としての自覚を持ち、役割を理解し、代表として真剣に取り組み、素晴らしい模擬議会でした。

これからも町民の一人として、町で行われる様々な活動や取り組みに関心を持ち、できれば参加し、若者の立場から色々な意見を聞かせてもらいたいと考えます。今後の皆さんの活躍に大いに期待して、講評とします。



9月

＼こんなことが決まりました／

議会定例会

令和6年9月4日～20日

● 令和5年度 決算認定について

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を認定しました。

● 一部事務組合の統合と解散について

和気北部衛生施設組合は、効率的な事務運営を目的として、和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合と統合し、組合を解散します。

なお、今まで行っていた火葬場の管理及び運営に関する事務は、和気・赤磐環境衛生施設組合（新名称）に引き継がれます。

[関係議案]

議案第73号 和気北部衛生施設組合の解散について

議案第74号 和気北部衛生施設組合の解散に伴う財産処分について

議案第75号 和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合の共同処理する事務の変更
及び規約変更について

● 和気町予約型乗合タクシーに関する条例の制定について

町民の生活における移動手段の確保及び充実に向け、町内5地区を対象に予約型乗合タクシーを実施します。

賛否の状況												※賛否が分かれた議案のみ掲載
議 案 等 の 名 称	山 野 英 里	山 田 浩 子	我 澤 隆 司	從 野 勝	神 崎 良 一	山 本 稔	居 樹 豊	万 代 哲 央	山 本 泰 正	広 瀬 正 男	西 中 純 一	
岡山県後期高齢者医療広域連合規約の 変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
和気町予約型乗合タクシーに関する 条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
和気町国民健康保険条例の一部を 改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
令和6年度和気町一般会計補正予算 (第3号)について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



令和5年度 一般会計歳入歳出決算認定

教育費の不用額の
7000万円とは

我澤 隆司 議員

Q 教育費の不用額7000万円について、前年度も同額程度がある理由は。

A 新田 教育次長

人件費が年度内に確定しないため、令和5年度は、高校の魅力化事業の不確定部分が年度末まであったことも大きい。

A 徳永 教育長

年度が始まって、クラスが増えた場合は教員を雇用する必要がある。最大限の予測をして予算を編成している。この数が読みにくい。基準確定日をもって、クラスが編制されたときに先生の数がそこまで要らなかったということで、不用額として毎年処理している。

不納欠損額とはなにか

神崎 良一 議員

Q 不納欠損の人数と金額、その発生事由はなにか。

A 豊福 税務課長

不納欠損の合計は、168人、1400万5862円。うち個人町民税は34人、95万1860円。内訳として①即時欠損が15人、28万83円。こちらは対象となる滞納者が外国人であり、滞納税額を納めずに海外へ転居したもの。②消滅時効が19人、67万1777円。5年間を経過して税の権利を行使しないときに消滅する。本人の財産調査を行い、滞納整理を行った後に、財産がこれ以上ないことが発覚した場合に、5年間継続して納税がなかった場合に不納欠損を行う。次に、いずれも地方税法第18条の消滅時効によるもので、法人町民税が2人、14万5800円。固定資産税が49人、1111万121円。軽自動車税が57人、66万9104円。都市計画税が26人、112万8977円となっている。

借地料は今後も払い続けるのか

從野 勝 議員

Q 庁舎の借地料を支払っているが、佐伯庁舎では、使用していない部分もある。今後も払い続けるのか。町の公有財産にしていくのか。

A 太田 町長

大きなものは、庁舎、佐伯ストア、交通公園等がある。借地を買い取り、借地を継続する場合など対象を洗い出して検討する。

観光費の不用額は

山田 浩子 議員

Q 観光費の不用額が2531万円あるが、内容は。

A 岡 産業振興課長

藤棚の更新を予定していたが、5年度は材料の購入のみになった。今年度、試験的な工事を行っている。また、温泉への繰出金の精算により、1640万円を一般会計に戻した。

A 永宗 総務事業部長

ロマンツェの負担金補助で500万円の不用が生じた。

藤公園の売上げ、今後の課題は

万代 哲央 議員

Q 売上、入園者前年度比は。道路の渋滞対策は。

A 岡 産業振興課長

入園料1293万円で、前年度より、

357万円の増。入園者は5万4717人で1万6562人の増。うち、1万426人が無料の入園者である。

課題は渋滞問題である。近隣の空き地や広場、駐車場を利用させてもらうことを考えている。また、夜間の藤を楽しんでもらうPRも検討していく。

予算の半分が不用とは

西中 純一 議員

Q 人権啓発推進費の不用額が105万円余り出ているがどうなっているか。

A 則枝 総務部長

部落解放同盟町協議会の研究会、集會大会等合わせて延べ44名の方が参加している。不用額については大会が年度にまたがる事業があり金額の確定が年度末になった。

本荘小学校は事業の対象外なのか

山野 英里 議員

Q 主体的な学びの基礎づくりの事業委託金として66万2810円が計上されているが、本荘小学校が入っていないのは。

A 嶋村 学校教育課長

学校の希望により、放課後に補充学習として、地域の方の支援で進めている。バスの待ち時間等を活用している小学校も多く、本荘小学校は別の時間に補充学習をしている。



今後の公共施設の管理運営は

居樹豊 議員

Q 公共施設の管理運営等について外部委託を含め考えているのか。

A 海野 財政課長

公共施設の維持保全については、適正な修繕、施設管理に努め長寿命化を図っていく。

令和5年度

駐車場事業特別会計決算認定

駅前駐車場拡張の今後は

居樹豊 議員

Q 駅前駐車場の拡張工事については、当初予算が否決されているが今後どのように進めていくのか。

A 西本 産業建設部長

駅前駐車場については、エレベーター設置事業と同時に考えていきたい。

令和5年度

上水道事業会計決算認定

減債積立金とは

神崎良一 議員

Q 減債積立金の積立額はいくらか。

A 柚本 上下水道課長

減債積立金とは、資本的収入の不足分を補うための財源の一つで、今年度決

算において2729万4285円の利益が生じたため、条例に基づき20分の1の金額を減債積立金として136万4000円をこの議会で承認後に積立金として処分するものだ。

令和5年度

簡易水道事業会計決算認定

給水原価は今後も上がっていくのか

我澤隆司 議員

Q 給水原価が供給単価を上回るのが3年ほど続いている。特に令和5年度は修繕費の増加で、給水原価が上がっているが今後の予測は。

A 柚本 上下水道課長

修繕費が高騰している。上水道、簡易水道、下水道事業とも、維持管理費は徐々に増加すると見込んでいる。更新事業は、水道ヒジヨンやストックマネジメント計画によって進めているが、老朽化する施設全般を考えると、給水原価が徐々に高くなると考えている。

岡山県後期高齢者広域連合規約の変更について

保険証がなくなった後の医療受診は

西中純一 議員

Q 令和6年12月2日以降は紙の保険証を発行しなくなる。マイナンバーカードを作っていない人は資格確認書を広域連合から送ってもらい医療受診

をするということか。

A 竹内 住民課長

そのとおりで、資格確認書で対応する。

和気町予約型乗合タクシーに関する条例

乗り合いタクシーの契約は

西中純一 議員

Q 乗り合いタクシー5地区で実施し、タクシー会社に委託ということだと思うがいつ頃契約をするのか。

A 河野 危機管理室長

9月中には契約したい。

木倉地区からの最終地点を和気駅にできないか

山本稔 議員

Q 木倉地区は和気鶴飼谷温泉が最終地となっているが和気駅にできないか。

A 河野 危機管理室長

町営バスに接続する最短の乗り継ぎ地が和気鶴飼谷温泉となっているためできない。

指定停留所の拡充、高校生も通学時無料は

山野英里 議員

Q 指定停留所として、和気鶴飼谷温泉と佐伯庁舎になっている。利便性を考えて指定停留所を増やすことはできないのか。乳幼児や小・中学生が通学するときは無料だが、高校生は対象にならないのか。

A 河野 危機管理室長

町営バスへの乗り継ぎを考慮して、バスが集約されている場所になっている。高校生は、対象として考えていない。小中学生のスクールバス通学の関係で中学生まで無料にしている。住民の生活を守るために10月1日からスタートする。

令和6年度
一般会計補正予算

危険木の場所は

西中純一 議員

Q 危険木伐倒委託料119万円の場合は

A 永宗 総務事業部長

長楽団地から町道南山方奥塩田線を予定している。松くい等により立ち枯れている。木が道路に倒れるという事案が多数あるので、安全を確保するため施工予定である。

権利の放棄

本人死亡で3件の債権放棄の内容は

山本稔 議員

Q 本人死亡で3件の債権放棄があるが家族親族に請求できるのでは。

A 柚本 上下水道課長

家族が引き続き支払いしてくれるケースもあるが、今回の案件は、単独世帯で請求することができない。

委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と
1つの特別委員会があり、
付託された議案について、特に詳しく審議します。



総務文教常任委員会

委員長 山本 稔

当委員会に付託されました令和5年度の決算認定2件につきましては、全会一致で認定されました。一般会計歳入歳出決算認定の審査の中で委員より、「サエスタの自主事業参加料の減額理由、文化協会清算金は協会解散によるものか」との質疑に、「参加料の減額は、観客数の増減や参加料の単価が違うためである、文化協会の清算金については、町の補助のみで活動していたので、解散により繰越金を町に返還したものである」との回答があり、また同委員より「海洋センターの活用をもっとアピールしたらどうか」との質疑に、「海洋クラブの充実や、外部インストラクターでの運営など研究していきたい」との答弁がありました。

議案76号和気町予約型乗り合いタクシーに関する条例の制定についてと、議案79号令和6年度和気町一般会計補正

予算(第3号)については賛成多数で可決しました。審査の過程で委員より「この条例は一人が何度でも乗れるので、制約を設けないとほかの交通機関を利用する人と公平性が保てないのではないか」との質疑に対し、「この条例はドア・ツー・ドアではなく各地域の拠点から町営バスまでの乗り継ぎの間を走らせるためのものである。1週間に何度も利用することはないと思われる」との答弁がありました。同委員から「補正予算についても同様に、何回も乗車できるので現予算では足りない。また補正予算を上げることになるのでは」との質疑に「利用が増えることも想定されるが現状ではこの程度で行ける見込みであり、公共交通であるので利用制限を行うことは行政サービスとしてはできない」との答弁がありました。

厚生産業常任委員会

委員長 神崎 良一

当委員会において決算認定については11件が全て認定され、議案16件の全てが可決されました。

一般会計歳入歳出決算認定の審査の中で町営住宅全体の歳入歳出差引き金額、環境衛生費、調査委託料の内容、生ごみ収集事業の委託業者、有害鳥獣捕獲後の処理、日笠の残土処分場について活発な議論がありました。主なものとして「町営住宅の歳入歳出の特殊事情を除いた収支は」という質疑に対し、「約1700万円が若草団地工事費なので、その金額を除くと約400万円のプラスである」との答弁がありました。「環境衛生費、調査委託料の内容は」との質疑に対し、「和気町の脱炭素化推進のための公共施設への再生エ

ネルギー導入調査費用である」との答弁がありました。「生ごみ収集事業の委託業者は入札で決定し毎年更新しているのか」との質疑に対し、「令和5年度から令和9年度の長期継続契約を締結している」との答弁がありました。「有害鳥獣捕獲後の獣害の処理をどうしているのか」との質疑に対し、「処理頭数に制限はあるが、苦木の処理場へ持ち込む場合や捕獲者個人で処理している」との答弁がありました。「日笠の残土処分場はいつから持込みが可能であるか」の質疑に対し、「今年度附帯工事を発注しており、今後条例等の整備を行い、令和7年度中には受入れが可能と見込みだ」との答弁がありました。

和気鵜飼谷温泉事業特別委員会

委員長 西中 純一

当委員会に付託された、令和5年度の決算認定については2件が認定され、議案1件が可決されました。決算認定の審議の過程で「200円割引温泉利用券を温泉利用者の1割近くの人が利用しているが、60歳以上無料利用券の利用率はどれくらいか」との質疑に、「60歳以上無料利用券の配布枚数を把握していないので利用率はわからない」との答弁がありました。「町内在住者であれば身分証明書の提示で枚数制限なしで割引できないか」との質疑に、「前向きに検討したい。しかし、免許証等で確認する場合、確認している、していないのトラブ

ルを避けたいので、方法は今後検討する」との答弁がありました。「職員一人当たりの売上高523万7000円は職員何名分か、また、人件費は1億1500万円ほど支出しているが、人件費比率はどれくらいか」との質疑に、「職員53名分で、人件費率は41.4%である」との答弁がありました。「カラオケの利用料が100円から200円に値上がりしたが、カラオケ収入と利用人数はどうか」との質疑に、「平日100円の期間でもコロナ前と比較して利用者は減っている。一概に200円に値上がりしたから利用者が減ったとも言えない」との答弁がありました。





一般質問

〈一般質問とは〉

一般質問とは、議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行機関(町)に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。

議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

9月議会定例会では9人の議員が質問しました。



PAGE
11

山田 浩子議員

- コミュニティ・スクールの取り組みでの成果は
- 認知症対策と高齢者の生活支援は

PAGE
12

山野 英里議員

- 町内でも出産できるように助産院と連携強化を
- 多世代交流の機会を増やすことはできないか

PAGE
13

居樹 豊議員

- どうする町道日室線(バイパス)の 延伸
- 通学路の安全対策の強化を
- 益原多目的公園の追加整備を

PAGE
14

我澤 隆司議員

- 上下水道会計の収支は
- 和気鶴飼谷温泉の経営状況は
- 和気町高齢者の要支援、要介護認定率をどう考えるのか

PAGE
15

万代 哲央議員

- 期成会の結成に向けて町執行部の考えは !!

PAGE
16

神崎 良一議員

- 和気町の今後の居住支援は
- インフラの防災対策は

PAGE
17

山本 稔議員

- 公共施設の長寿命化は
- 子どもたちへ予防医療教育を行ってはどうか
- 佐伯中学校の長寿命化を行った理由は

PAGE
18

西中 純一議員

- 町営バスの臨時便が運行できないか
- 選挙公報の配布方法を改善しては
- 保険証発行中止になると困る
保険証を残すように要望を

PAGE
19

山本 泰正議員

- 中学校の部活動復活を目指して
- 農地の保全管理の指導は適正か



コミュニティ・スクールの取り組みでの成果は

A

多大な好影響があった

動画はこちら



山田 浩子 議員



Q コミュニティ・スクールの取り組みでの成果と課題は。先生の働き方改革につながると考えるが。

A 嶋村 学校教育課長

和気小・和気中では来年度導入に向けて準備をしている。本荘小では地域総がかりで子どもたちを育てること、地域・保護者のつながりを広げることなど、多大な好影響があった。佐伯中学校区でも拡大熟議が実施され、活発な議論が交わされた。町内の子どもの郷土愛が高い調査結果も出ており、地域とともにある学校づくりが進んでいる。この取り組みが持続可能なものとなるよう、体制を整えていくことが今後の課題である。

A 徳永 教育長

働き方改革の目的は、先生が子どもと向き合う時間を確保することである。また、先生の指導力向上が、子どもたちの生きる力、将来働く力、社会性などを身につけていくことにつながる。コミュニティ・スクールとして地域の協力も得ながら、先生方がそれぞれ持っている力を十分に発揮してもらいたい。



地域の方に見守られての登校



子どもを見守る大人の背中がかっこいい！

Q 図書予算に各学校の要望を取り入れることはできないか。廃棄対象の本を、図書館のように町民に提供する等の活用方法はないか。

A 嶋村 学校教育課長

児童生徒数・学級数により予算を定めているが、学校から要望があれば、個別に意見を聞いていく。廃棄対象の本の有効な活用は大切。今後、研究していきたい。



季節の本の展示など工夫されている図書室

認知症対策と高齢者の生活支援は

Q 認知症対策の取組は。全国的に認知症による行方不明者も増加している。自治体によっては、衣服などに貼るQRコードの配布、認知症高齢者個人賠償責任保険事業※、見守り電話などを取り入れている。和気町も取り組みを研究しては。また、高齢者支援での“ちょいボラ”の活用が少ないようだが。

A 万代 民生福祉部長

お守りキーホルダーの配布をしている。認知症サポーター養成講座の開催や、映画上映など、認知症理解の普及啓発にも取り組んでいる。QRコードや、認知症の賠償保険制度については研究していきたい。ちょいボラ講座で、高齢者の生活上のちょっとした困りごとへの支援を行うサポーターを養成している。マッチングの実績がまだ少ないので、より一層、広報に取り組んでいきたい。

※認知症高齢者個人賠償責任保険事業

認知症高齢者が日常生活における偶然的事故によって、第三者に損害を負わせてしまうなどして損害賠償責任を負った場合に備えて、自治体が保険契約者となり個人賠償責任保険に加入するもの。



和気町のお守りキーホルダー



町内でも出産できるように 助産院と連携強化を

A

視察も含めて、近隣の助産院とも連携を進めたい

動画はこちら



山野英里 議員



Q 少子化に伴い病院などが減っていく一方、助産院はここ数年で新しくできていく。町内には出産する施設がないが、助産院と協力すれば、町内の自宅でも出産するという選択肢もある。町内で何かしようとするのではなく、周辺地域との連携も今後の課題だ。

周辺地域とも協力をして病院や助産院を知らせるために工夫はできないのか。

A 松田 健康福祉課長

産院などの周知方法は、町で独自に配布用の資料を作成し、ホームページでも掲載している。自宅で出産を希望する方も増えてきているので、相談があれば紹介している。

近隣市町村で共通のパンフレットなどが作成できれば、より一層、子育て支援に寄与することができ。近隣の市町村との連携体制を模索したい。

Q 担当部署で、病院や助産院などの視察はできないのか。

A 松田 健康福祉課長

我々が見聞きした内容を伝えることで、出産される方の不安軽減につながる良いと思う。現地視察を行って助産師などの話を聞きたい。

A 太田 町長

和気町で、子どもが生まれるという意味は大きなものがある。視察も含めて、近隣の助産院とも連携を進めていきたい。

意見

選択肢が増えて、自分で選択し、自分らしい出産ができるということは達成感や自信へとつながる。また、町内での出産は関係・交流人口の創出にもつながる。

助産院とも連携することで、町内で出産することもできる



多世代交流の機会を増やすことはできないか

Q 多世代で交流する機会が減っているので、意識をして交流する機会をつくる必要がある。遊びを通して多世代交流ができ、多彩な意味合いを持つものとして、プレーカー（移動式の遊び場）がある。国もウォーカブルなまちづくりを推進している。道路を一定時間、遊戯道路や歩行者天国にして遊ぶ取り組みも全国で広がっている。交流する機会を増やすために、プレーカーを導入できないか。

A 松田 健康福祉課長

多世代交流により子どもにとっては、孤独の緩和、社会性の習得などができ、また高齢者にとっても社会参加、認知症予防、生きがいや楽しみが生まれることから積極的に進めたい。

今後、NPO法人とも相談をしながら導入等については考えていく。

A 太田 町長

NPO法人とも協力ができれば、プレーカーの導入も含めて子どもたちと交流ができる場面をつくっていきたい。

意見

遊びを通した多世代交流は町民のつながりを深め、地域の活性化だけでなく、防災という視点でも重要だ。



プレーカーを使用して駅前のにぎわいを創出することもできる





どうする町道日室線 (バイパス)の延伸

Q 町道日室衣笠線は、主要町道でありながら、狭い日室区内を通行する路線であり、安全走行にも支障を来している。平成25年度より一部改良工事がされているが、いまだ途中ストップし本線への接続がなされていない。今後の方針等について伺いたい。

A 西本 産業建設部長

町道日室衣笠線の通行状況は、国道374号線、県道と接続する一級町道で生活基盤を支える重要路線であると認識している。それに結ぶ道路は今後の課題だ。

Q 町として今後の整備方針を早急に策定していくことが求められている。

A 太田 町長

日室7号線については小学校の通学路でもあるので交通量との絡みも考え、今後部内検討していく。



全線開通が待たれる日室地内の町道

通学路の安全対策の強化を

Q 通学路の安全対策については、安全対策推進会議等を通じ安全確保に努めているものと承知している。しかし、先般の中学生模擬議会で提起があったように現場での実施点検についての考えを伺いたい。

A 新田 教育次長

子どもたちが安全に登下校できるように引き続き関係機関と連携を図り安全確保に努めてまいります。なお、危険箇所については、小学校、中学校区でそれぞれ対応している。

益原多目的公園の追加整備を

Q 益原多目的公園は本年4月にリニューアルオープンし、大型遊具等が整備され県下でも素晴らしい施設として町内外から好評を博し賑わっている。しかし、公園全体を見るに古い遊具など本町の拠点として、さらなる賑わい創出のための追加整備が必要ではないか。

A 岡 産業振興課長

開園当時から使っている遊具の撤去等については具体的な計画は、現在検討中で公園全体の魅力向上につながるものになりたいと考えている。なお、来年度当初予算に関連の予算を計上し、計画がまとまり次第示す。

A 今田 副町長

本公園は本町にとって非常に重要な施設であると認識しており、魅力アップを図っていきたい。なお、駐車場の早期完成に向けて全力で取り組んでいく。



大人気的大型複合遊具

A

部内検討して考えていく

動画はこちら



居樹

豊議員





上下水道会計の収支は

Q 収支を整えるためには、どの程度の改定が必要か。受益者負担原則の上下水道料金について、どう考えるか。

A 榎本 上下水道課長

給水原価約140円/㎡に対し、料金の単価が134円/㎡で、上水は約5%の改定が必要。下水道料金は、処理原価が約620円/㎡、下水道単価155円/㎡で、4倍の改定が必要となる。

A 太田 町長

公平性から考えても一般会計からの繰入れは、理解いただけたら考える。しかし、一般会計に影響を与えない経営努力は必要だ。



3月に完成した石生配水池。
今後も大型の設備投資が
予想される水道事業。

和気鵜飼谷温泉の 経営状況は

Q 和気鵜飼谷温泉の経営状況について、収支の推移は。

A 大竹 鵜飼谷温泉支配人

和気町へ移管後12年間で3億6904万円を一般会計から補填している。今年度は、大型工事があり起債額1億2650万円を含め約2億2600万円を一般会計から補填する計画。

Q 前年度比130%の売上予算だが達成状況は。

A 大竹 鵜飼谷温泉支配人

8月末現在で、98.5%と厳しい状況。新規の顧客獲得に取り組んでいきたい。

Q 年度予算を達成するには、下期で前年対比150%以上の売上げが必要だが、対策はあるのか。

A 太田 町長

トップセールスも含めて、企業などあらゆるところをお願いに回りたい。



来年は30周年。真価を問われる和気鵜飼谷温泉。

意見

温泉のようにわかりやすい事業でこの結果では、万事同様な状況になりかねない。一番困っている部局であることを町は認識して、職員一丸となって取り組んでいただきたい。

A

3会計トータルで
実質3億円程度の
赤字が実情だ

動画はこちら



我澤 隆司 議員



和気町高齢者の要支援、
要介護認定率をどう考えるか

Q 和気町の要支援、要介護の認定率は、岡山県内27市町村で2番目に低いというデータをどう考えるか。

A 万代 民生福祉部長

調整済み認定率は令和5年3月末現在で13.9%。県内で新庄村に次ぎ2番目に低い。地域活動に参加する高齢者は、56.8%で全国平均より高い。介護予防教室、よつこらどっこい体操など、多様な通いの場があることも寄与していると考えます。

A 太田 町長

介護認定率が低い要因は、様々な事業を取り組んだ結果とも考える。健康で暮らしている高齢者が多いということで、うれしく思っている。

意見

和気町は、百歳大楽校、351回を誇るシルバークラブ会、グラウンドゴルフも盛んだ。何よりも、町営の和気鵜飼谷温泉がある。健康増進施設として29年間の結果を残したと考える。財政負担の問題はあるが、さらに有効に活用して、高齢者のみならず日本一の健康なまちを目指してほしい。



期成会の結成にむけて
町執行部の考えは!!



生活に密着し、県内の広域交
通を担う重要な路線だ
和気町として支援、協力する

動画はこちら



万代
哲央
議員

Q 和気橋の架け替えと一部県道のバイパス化を実現する期成会結成の必要性を痛感している。

町も一体となって活動支援をお願いしたいが見解は。

期成会の必要に至った経緯について

近年では、佐伯大橋（御津佐伯線の道路橋）が、平成6年4月に竣工した。昭和54年に当時の町長が新佐伯橋の建設と、併せてバイパス道路の建設を県に要望した。

昭和61年に「新佐伯橋構想」が発表され、平成元年より新橋建設に向けて工事が着工された。

平成6年4月に新佐伯大橋が完成、県道も整備された。新佐伯橋構想が示されてから新橋完成までに約9年間に要したことになる。

橋の建設から50年以上が経過した橋を国は老朽橋と呼んでいる。現在全国で市町村管理の老朽橋のうち、約1万か所に及ぶ橋の修繕や撤去が未着工の状態にあり、今後国が財政支援して早期対策を促すという。

和気橋の現状は適切に維持管理されているが、60年以上経過した橋であり、架け替えには

財政支援が必要なので「期成会」を結成して早期実現に向け活動していく必要がある。岡山県内で老朽橋は76か所あるが、遅れをとるわけにはいかない。

また、架け替え時に原地内の県道は、バイパス道路を新設すること。交通事故を回避し、住民の安全な生活を守ること、このことは一步も譲ることはできないことだ。

新佐伯大橋は構想から完成までに9年間に要したが、和気橋の場合今すぐ架け替えが決断されても9年間要すると現橋は70年間利用されることになる。

「和気町の喫緊の課題、優先順位1番の要望」と元町長、前町長、現町長と変わることなく事あるごとに要望し続けている。

A 西本 産業建設部長

和気橋は60年を経過して、老朽化とともに朝夕の渋滞を引き起こしている。岡山県に対し様々な方面から要望している。期成会を結成することに問題はない。結成にむけて、また、結成後も町として支援、協力していく。

A 太田 町長

東備地域において生活に密着した重要な路線であるとともに、県内の広域交通を担う重要路線でもある。あらゆる方向から強く要望している。

期成会については、地元とともに進めていく意向だ。支援、協力していく。



和気町の 今後の居住支援は

Q ①居住支援制度とはどのような制度なのか。

②岡山県の対応はどうなっているか。

A 西本 産業建設部長

①居住支援が必要な背景として、住宅確保要配慮者である高齢者のみの世帯が増加し、賃貸住宅への入居を希望されても孤独死や死亡後の残置処分などの入居後の課題への不安から、大家の拒否感が大きい現状がある。居住支援制度は、高齢者、障がいをお持ちの方、低額所得者など、住宅確保要配慮者が賃貸住宅の入居に困っている場合に、入居に向けた支援と居住支援法人とを活用した入居後の生活支援を実施する制度である。

②岡山県は令和7年度新規重点施策として、県の補助制度を含め、現在検討段階である。

意見

一つの課がやれる話ではない。町全体がやらないといけないので、新たなチームを作るのか、担当部署が合同なのか、よく打ち合わせ進めていただきたい。

A

岡山県や県内市町村の
動向も注視し進めてい
きたい

動画はこちら



インフラの防災対策は

Q ①災害発生時のインフラ(水、電気、道路等)はどうなっているか。

②今後のインフラに対する具体的な施策は何か。

A 河野 危機管理室長

①土砂災害や洪水は、災害発生箇所や浸水区域によって被災区域が変わってくるために、水道や電気、道路などインフラの被害想定が難しい状況にある。地震に関しては、岡山県が地震津波被害想定調査をもとに、現時点での南海トラフ地震による各種インフラの被害想定が公表されている。発災直後には断水率が68.6%。停電率が41.3%と想定をされている。国や県では、現在この南海トラフ地震の被害想定の見直しを

行っており、この改訂を受けて、各種防災の計画見直しを行いたい。

②企業や団体などと災害時の応援協定を結んでいる。中国電力とは連絡体制、協力体制を整え、大規模災害時にはリエゾン※の受入れを行い情報交換を円滑に行う体制を整えている。断水時には日本水道協会岡山県支部、道路、河川などの土木施設の災害対応については和気町建設業協会と協定を締結して災害発生時の体制を整えている。

Q 災害時、電気を確保できる方法はあるのか。笠岡の民間企業が大阪の企業と組んで、牛ふんで発電する方法が新聞に掲載されていた。和気町にも牛ふんがあるが、なにか動きはないか。

A 太田 町長

近隣の市町だけでなく、全国的に様々な取り組みがされているところを参考にしながら、それを和気町に置き換えて、できることを考えていきたい。

神崎良一 議員



※リエゾン：災害対策現地情報連絡員。フランス語で「つなぐ、橋渡し」という意味。

Q

公共施設の長寿命化は

A

個別計画に沿って
適正に整備する

動画はこちら



山本
稔
議員



Q 学び館サエスタ、旧佐伯町中央公民館、和気町中央公民館の長寿命化はしていく計画か。

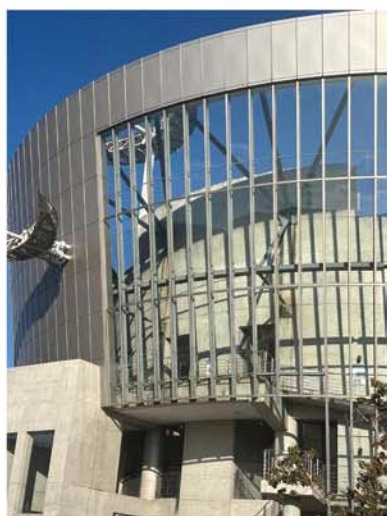
A 森元 社会教育課長

サエスタについては2039、2040年度の長寿命化改修をする目安となっているが、一部劣化も見受けられるので、改修計画前でも補修を進めていく。

和気町中央公民館は築年数50年を超えており、計画では2パターンの整備計画があり、耐震改修をした長寿命化をするものと、建て替え改築をするものに分けられるが、今後協議が必要である。

A 永宗 総務事業部長

旧佐伯町中央公民館は現在佐伯庁舎分館として管理している。耐震診断は未実施で大規模なメンテナンスは長らく行っていないが早急な取り壊しなどは考えていない。今後地域振興や地域活性化に寄与するような提案があれば、改修、整備する必要があると思っている。



早急な補修が待たれる
サエスタ



建て替えか改修か
決まっていない
和気町中央公民館



使用も少なく
改修もされない
佐伯庁舎分館

子どもたちに予防医療教育をしてはどうか

Q 生活習慣病や病気になる原因を勉強して、病気を予防する教育に、力を入れてはどうか。

A 嶋村 学校教育課長

小学校3、4年で8単位時間。5、6年で16単位時間。中学校3年間で48単位時間程度、健康な生活や疾病について学習している。予防ということで今後も取り組みや指導を一層充実させていきたい。

佐伯中学校の長寿命化を行った理由は

Q 佐伯中学校は統合が延期となっており、今、長寿命化を行うのは納得できない。義務教育学校を計画しようとしているが、進めていくのか。

A 新田 教育次長

佐伯中学校は学校長寿命化計画に沿って予防改修事業を行ったものである。

A 徳永 教育長

佐伯地域の学校については、平成26年の方針決定以来、地域から特に声が上がってこなかったのが長寿命化を行った。佐伯地域の小、中学校の在り方については、検討委員会でも今後、議論がなされると考えている。



町営バスの臨時便が 運行できないか

Q イベントがサエスタで開催されても本荘地区からはなかなか便がない。臨時便の場合によっては用意できないか。佐伯から藤まつり、和文字焼きまつりなどへ行く際にもあったら便利だという意見もあるが。

A 河野 危機管理室長

現在の町営バスはスクールバスの空き時間を利用していため、午前中は各地域から病院や商業施設のあるまちなかへ行く。午後は逆に地域へ戻る定時定路線での運行ダイヤとなっている。臨時便を運行すると車両や運転手の確保それに伴う経費が必要になる。また、町内の交通事業者との競合する点からも望ましい状況ではない。令和7年1月からのダイヤ改正により、午前中に佐伯方面へ向かう便も増える計画を予定。サエスタの講座などにも参加できる機会は増えると考えている。臨時便の運行は考えていない。

A

経費の問題もあり
臨時便の運行は
考えていない

動画はこちら



西中純一 議員



選挙公報の配布方法を改善しては

Q 衆議院、参議院の選挙公報は新聞折り込みで配布していると思うが、新聞購読者の減少で配布率が減っているのではないか。広報和氣を配布するのと同じ方法で配布したらどうか。

A 則枝 総務部長

令和4年の参議院選挙では4000部配布した。今回の10月27日の県知事選挙では、約3500部の新聞折り込みを予定している。なお、県内27市町村のうち県知事選挙では17市町村で新聞折り込みすることを確認している。提案された広報誌と同様の方法で配布すると、各区への仕分け作業後に各区において全戸に配布となり、時間的な制約と各区長へ負担をかけることになるため、新聞折り込みと公共施設へ据え置くなどの方法を考えている。

保険証発行中止になると困る 保険証を残すように要望を

Q マイナンバーカードについて医療関係団体によると昨年時点でトラブルが全国で5493件もあり、マイナンバーカードを持っていない人で被保険者の所属が確認できず受診をあきらめるという例もある。12月2日以降はカード持っていない人には資格確認書を交付するのか。

町民の不安をなくすために、町から町村会を通じて、当面保険証を残すように要望できないか。

A 竹内 住民課長

原則として、健康保険証は廃止してマイナ保険証を提示することになっている。なおマイナ保険証を持っていない場合は、資格確認書を交付する予定である。また、今の保険証を残すよう町村会を通じて要望をということだが、町としては国、県からの法令や通達により対応しているので、町村会を通じての要望は考えていない。





中学校の部活動 復活を目指して

A

近隣中学校との 合同部活を推進したい

動画はこちら



山本
泰正
議員



Q 和気中学校の男子ソフトテニス部が県大会優勝、野球においては、クラブチームで活躍中の和気中学校3名が世界大会や、全国大会に出場するなど大活躍しており大変喜ばしいことだ。そこで中学校の部活動の状況は。

A 嶋村学校教育課長

野球部は、磐梨中学校との合同チーム、サッカーは吉永中学校との合同チームで、平日は各学校で練習し、休日は合同練習している。

Q 教員の働き方改革、部活動の地域移行などの問題はなにか。

A 嶋村学校教育課長

文部科学省による公立学校教職員の業務量適正管理の指針に基づき子どもたちに効果的な教育活動を目指し、まい進している。

Q 部員の減少に伴い合同チームでの部活動も現状では良策と思えるが、部活担当教員の変則勤務で部活動の充実はできないか。

A 徳永教育長

部活動は大変有意義な活動であり、国・県の動向を注視しながら和気町での取り組みを検討し、積極的に取り組んでいる。

意見

スポーツ好きの生徒でクラブチームで活躍する生徒、部活動が好きでも参加できない生徒、部活動で頑張り、学業にも頑張れる生徒も少なからずいると思われる。和気町独自の教員指導体制を確立し、部活動の復活を強く望む。

農地の保全管理指導は適正か

Q 農家の高齢化とともに耕作放棄地も増加の一途をたどっている。そんな中、農地に不法投棄とも思える土砂の埋め立てが見受けられる。農地改良の定義とは。

A 西本 産業建設部長

農地改良とは、農地面積1,000㎡以内、盛り土の高さ及び掘削の深さが1m以下で期間3か月以内の3点が合致することだ。

Q 和気町指名業者への工事残土処理の指導方針は。

A 西本 産業建設部長

公共工事により発生する建設残土はリサイクルの観点から、公共工事管理用、再利用、その他適正利用として、法令に基づき正規な残土処理場への運搬を求めている。

Q 法的な農地改良には該当しない。また、町の指名業者への工事残土の指導にも該当しない。しかし、通し田の埋め立ての際、コルゲート管を和気町が現物支給し4～5メートルの埋め立てをさせている。行政の指導状況は。

A 今田 副町長

今回の指名業者の残土処理については、年数が経過しており開発許可を受けるよう業者を指導している。

Q まったく理解できない。業者寄りの回答だ。農地改良にも、原材料支給に大きな問題がある。中山間地域では、高齢の農業者が、耕作放棄地にならないよう頑張っている現状だ。今後の和気町農政の町長の方針は。

A 太田 町長

農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足、農業機械及び資材の高騰など大きな問題だ。農地の保全については喫緊の課題だ。意欲ある農家への管理委託の増進、遊休農地・荒廃農地の発生防止など将来にわたり持続可能な農業を目指し支援していきたい。

意見

今回の質問、数年前の問題であり太田町政の責任ではない部分もあるが、現状把握の上、毅然とした対応を願いたい。



残土処理場化した農地



表紙写真を 募集しています



あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！

発行月（1、4、7、10月）にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。

今月の表紙

「澄み切った秋晴れと剣舞」

撮影場所：
三保高原スポーツ&リゾート
（ロマンツェ芝生広場）

撮影者：
議会広報編集委員会

コメント：
和気剣舞劇団「和花藤会（わかふじかい）」を、佐伯のシンボル風車をバックに撮影しました。高い評価を受けている劇団だけあり、家族連れ中心の観客からも好評でした。



一部加工・トリミングして掲載しています。



私たち「和花藤会」は、和気清麻呂公のお芝居と剣舞によって、和気町を盛り上げていく活動を行っています。先日のりんごまつりのステージで演じさせていただきました。これからも応援してください。

編集後記

佐伯のりんご園で子どもが「りんご園って青森県にしかないか」と思っていた。もぎたては、こんなにジューシーで美味しんだね」と嬉しそうにりんごを頬張っていました。生産者の方へ感謝と共に、体験は新たな発見や学びへと繋がりますね。

先日、2回目の中学生模擬議会が開催されました。8人の中学生による一般質問を傍聴しましたが、どの子も町をより良くしたい、困っているのを改善してほしいなど、自分の考えや思いがよく伝わる内容であり、よい学びとなりました。

様々な町民の思いが町政へと反映されていくことで、より魅力的な町へと成長していくのではないのでしょうか。

（山野英里）



和気町議会だより 第74号 令和6年10月25日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyoseijoho/wakichogikai/>



和気町議会
ホームページはこちら！
和気町議会 検索